

非財務ハイライト

ESG経営—外部からの評価

三井住友トラスト・グループのESG評価

(2019年MSCI格付)

AA

「ESG経営金融機関No.1」を目指し、経営にESG投資家の視点を取り入れており、有力ESG調査機関のMSCI社から国内金融機関最高位の格付を受けるなど高い評価を受けています。

運用会社に対するPRIアセスメント状況

(2019年PRIアセスメント)

A⁺

三井住友トラスト・アセットマネジメント、日興アセットマネジメントは、ともにPRI(責任投資原則)に署名し、原則に則った取り組みを行っています。両社とも年次アセスメントの総合評価で最上位の「A+」を獲得しています。

ESG経営—強化してきた取り組み

事業におけるサステナビリティ

金賞

三井住友信託銀行は、新商品が評価され、環境省が開始した「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」(第1回)の融資部門で金賞を受賞しました(詳細はP.46ご参照)。

E (炭素関連資産エクスポージャー)

(2020年3月末)

5.2%

炭素関連資産の集中度を示す指標である炭素関連資産エクスポージャー※の貸出金に対する比率。炭素関連資産エクスポージャーから控除される再生可能エネルギープロジェクトファイナンスが増加、前年度末比0.4ポイント減(詳細はP.85ご参照)。

※三井住友信託銀行および泰国三井住友信託銀行合算

S (ジェロントロジー検定合格者数)

(2020年3月末)

912人

三井住友信託銀行は、2014年から開始した「老年学(ジェロントロジー)検定」資格取得の義務化の対象を全営業店の店部長から次長、課長、財務コンサルタントまで拡大した結果、合格者数が昨年の293人(2019年6月末)から大きく増加しました。

G (女性役員の数)

(2020年3月末)

6人

三井住友トラスト・ホールディングス取締役1人
三井住友信託銀行取締役2人
三井住友トラスト・アセットマネジメント取締役1人
日興アセットマネジメント取締役2人